

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」

## 2021年度 復帰支援プログラム：投稿論文の英文校閲費助成 募集要項

### 【趣旨】

本支援は、文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」（2019年度～2024年度）の一環として実施するものであり、産休・育休等により研究中断があった研究者の研究活動を支援するために、学術雑誌への投稿論文の英文校閲費用を助成する事業です。なお、支援対象者の性別は問いません。

### 【支援対象となる投稿論文】

- 自身が第一著者(first author)または責任著者(corresponding author)として発表する著作物であること
- 支援決定の日から2022年2月15日までの間に英文校閲の納品検収が行われること
- 投稿する学術雑誌が以下に該当すること
  - 1) 査読が行われる英文の学術雑誌であること
  - 2) 投稿規定や編集委員の情報が公開されていること
  - 3) 論文、もしくは論文要旨を、Web等を通じて世界の研究者が閲覧できること

### 【支援金額】

英文校閲に要する費用の範囲内で、上限15万円まで

- 応募状況によっては、年度途中で応募を終了することがあります。
- 他経費との合算での支払いはできません。
- 一般的な英文校閲以外の用途(カバーレター作成等)についてはお問い合わせください。

### 【申請資格】 ※以下すべてを満たすこと。

- 北海道大学に所属する研究者(特任教員、本学と雇用関係のある研究員・医員、学振PD・RPD・SPDを含む)
- 申請日以前3年以内に、産休・育休・介護休による30日間以上の連続した研究中断が終了した者
- 研究活動を職務に含んでいる者
- 投稿する学術雑誌での論文の採択が決定されるまでに本学に在籍する予定であること
- 論文がオリジナルの学術論文であること(レビュー、本、会議発表のみを予定している論文は対象外)
- 共著論文の場合は全共著者の了解を得ていること

### 【申請方法】

以下の書類を人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室([reed@synfoster.hokudai.ac.jp](mailto:reed@synfoster.hokudai.ac.jp))宛てに提出願います。

- ① 英文校閲費助成申請書
- ② 校閲費の見積書(写し、1社分のみで可)

**【支援件数】**

5 件程度

**【助成決定・結果通知について】**

申請内容に基づき選考を行い、支援の可否を決定します。

申請書受理から 2 週間以内に、ダイバーシティ研究環境推進室（以下 Ree-D）から結果を通知します。

**【決定後の手続き】**

英文校閲の発注は申請者にて行い、発注に関するメールのやり取り等は Ree-D に転送してください。ダイバーシティ研究環境推進室ではそれら取引証憑類と見積書・納品書・請求書を基に支払い手続きを行います。

## &lt;手続きの流れ&gt;

- ① 見積書（原本）、英文校閲を受ける前の原稿の単語数がわかるデータを Ree-D に提出（見積書に記載された単語数と一致するか確認するため）
- ② 申請者が校閲業者に発注
- ③ 納品後速やかに納品書（原本）、請求書（原本）、納品された成果物（写）を Ree-D に提出
- ④ Ree-D にて支払い手続き
- ⑤ 学術雑誌への投稿受付メール等を Ree-D に転送
- ⑥ 投稿論文が学術雑誌に掲載された場合は別刷またはそれに相当するものを、掲載されなかった場合はその旨の通知文等を Ree-D に提出

- 投稿予定学術雑誌が変更になる場合は、あらかじめ相談してください。
- 申請後、事情により支援が不要となった場合は直ちに連絡してください。
- 支援決定後、本学から異動する場合、その時点で支援終了とします。
- 「納品された成果物（写）」は納品物確認にのみ使用します。

**【備考】**

- 本支援を受けた方は、本事業において実施する他の研修やシンポジウム等に積極的にご参加ください。
- 本支援を受けた場合、事業実績報告書に掲載するために研究業績（論文数や外部資金獲得件数等）を 2024 年度分まで年 1 回提出していただきます。
- 支援は 1 人 2 件以内/年度とします（ただし、2 件目の申請は 1 件目の掲載が受理されてから受け付けます）。

**【問い合わせ先】**

北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室  
e-mail : [reed@synfoster.hokudai.ac.jp](mailto:reed@synfoster.hokudai.ac.jp) 内線 : 3625